

建設産業委員会会議録

平成 26 年 1 月 9 日 (木)

午後 3 時 00 分 開会

○小出義一委員長

ただいまから建設産業委員会を開会します。閉会中の調査事項について、を議題とします。メールで事前に連絡させてもらいましたが、J R 半田駅前の地元の方との意見交換会を 1 月 27 日の 2 時から、場所は中組会所となりました。現時点で出席予定者の名簿を資料としています。10 名の方に来ていただく予定です。半田信用金庫さんと商工会議所さんはまだどなたが見えるかわかりませんが、信用金庫さんとして、商工会議所さんとしてそれぞれ出席していただけることになっています。今日、ここで確認していただく前に正式に文書での案内を送付することはしておりませんので、確認していただければ案内を発送します。よろしいでしょうか。

○中川健一委員

蔵の茶屋の店長さんが来るということですが、タウンマネジメントの責任者に来ていただいたほうがいいのではないかと思います。相手を選んだことだからあんまり言うてはいけないことだと思えますが。

○小出義一委員長

これから調整する部分もあるかもしれませんが、ちょっと説明させていただきます。商店街監事の浅井さんは末広亭の方ですし、内田さんは松華堂の方です。地権者という意味でもドンピシャのメンバーだと思います。一応これでいきたいと思えますのでよろしく願います。

○中川健一委員

相手の決めたことなのであまり茶々は入れてはいけないと思えますので、一応どうかと思え、発言させていただきました。

○小出義一委員長

例えば区の方総意をもってできている、区長さんの立場もあるということですが。

【発言するものあり】

○小出義一委員長

一応懇談会の意図をお伝えして考えていただいています、よろしいでしょうか。

それでは意図を再度お伝えさせていただいて、決定したいと思えます。

続きまして 27 日の流れについて街づくりの参考例を、前回の委員会でまとめたものです。また、流れについても確認していただいて修正を加えていきたいと思えます。流れとしましては最初に委員長から挨拶をしまして、先方の代表として街づくり勉強会の会長をさせていただきましたカクサンの竹内さんから挨拶をしていただきます。出席者の自己紹介となり、その後街づくりの現状についてパワーポイントを使って当局のほうから説明していただきます。その後委員会としてこのテーマ、J R 半田駅前を賑わいのある町並みにしたいとしたいきさつを説明し、地元の方の街づくりに対する考えを聞いて、委員会で考えた参考例を説明し、それについても意見をいただきたいと思えます。

パワーポイントの中身についても確認していただきたいと思います。

最初に半田運河周辺整備事業が平成 28 年に完成するということがあります。また、半六邸広場の整備計画があること、半田市の事業ではありませんがミツカンさんの博物館酢の里が平成 27 年 12 月完成する計画があり周辺がずいぶん変わっていく状況で、J R 半田駅周辺に空家が多いことや平成 26 年度中に都市計画決定をする予定であることから、今、この時期にこういったことを考えるいい機会であることを説明します。半田市でやっている事業についてはパワーポイントで補足をしながら説明したいと思います。地元の方なので場所もよくわかっていると思います。その後街づくり勉強会のアンケートについて触れています。アンケートの中で参考になるデータとして載せています。今、不満に思っていること。そして将来についての意見を踏まえて今後の賑わいづくりにどう取り組んでいくべきか一緒に考えていけないかを伝えられればと思います。

ここまでは事業として計画され決まっていることですので、ここからはまだ決まっていない意見を聞くということでペーパーを基に進めたいと思います。

今までのところで何かありますか。

○鈴木好美委員

この説明を 27 日にやるのですか。

○小出義一委員長

話の導入としてやる予定です。

○新美保博委員

何が言いたいのかよくわからないのだけれど。例えば半田運河周辺整備事業について平成 28 年 3 月完了予定とあるが、ここでかけたお金で景観形成重点地区の要綱にあったものを作るのか。そのように理解していいのか。

○笠原建設部長

都市計画で決定をしている半田運河周辺の半六邸を含めた整備では景観形成重点地区の民地への支援などは一切関係ありません。市が整備する内容です。

○新美保博委員

それでは半六邸の話はどうでもいいことだね。

○小出義一委員長

どうでもいいことかもしれませんが一応酢の里リニューアルすることと、酒の文化館が一つになる状況が半田運河の周辺であるよということを確認したいと思いました。そのタイミングで J R の高架化が行われ、賑わいを作っていくという要望があるのであればどんな街づくりをしていくか考える機会であることを伝えたいと思っています。景観の話は提案の中で煮詰めたところで景観形成重点地区はどこまでになっているのか、といった資料をだしたいと思います。

○沢田清委員

最初にこっちからこういうプレゼンをするということですか。今回皆さんとおでかけ委員会をやるよといった趣旨は「向こうの意見をきかないとこちらばかりで進んでいてはいけな

いよ」と。その後意見を聞いて、その意見に対して「実はこういう案があるのですよ」と言ったほうが、どんな意見がでてくるかわからないし、押しつけになってしまうと思います。

○小出義一委員長

申し上げたところは、半田市の事業として決まっているところだけ説明してこの機会に考えたいと。一つ例としてまず前段で言いたいことはアンケートがあるのですが、地元の方たちがどういう風に考えているのか、というものを聞きたいと思います。賑わいのある街づくりをしていきたいと。ここが委員会として方向が一致しているのであれば、委員会としても考えている内容があるので、と言ってこの内容を説明していきたいと思います。説明をさせていただいて、それに対してもまたご意見を聞きたいと思います。この説明の中でコミュニティ道路であったり、景観形成であったり、具体的にイメージできる資料を追加したいと思います。こんな流れです。

○中川健一委員

この時には、まずちゃんとおでかけ委員会で意見を聞いてみると。それで意見を聞くだけでなく、我々も素案があるので、「決定ではないけれどもこういう風でやれないか」というので。

○小出義一委員長

お配りしています今後の街づくり参考例にまとめてきました。

○中川健一委員

これはちゃんと提案するのですね。

○小出義一委員長

そうです。これに対しての呼び水となるような説明をしないと意見も出ないでしょうから。

○榊原伸行委員

我々はこうやって街づくりについて勉強していますが、突然みえて、我々の提案を聞かされても反応ができないのではないかと。資料を事前に渡して考えてきてもらいたい。

○新美保博委員

何をやりたいのかわからない。これでもわからない。この人たちはその気は全然無いのだから、今現状がどういう風になっていて、景観形成重点地区のエリアを見直して、区画整理があって、ということを説明してもなんで建設産業委員会がこのテーマを取り上げたのかというのを説明しなければ何も意味がない。

○中川健一委員

この資料になぜ建設産業委員会がこのテーマに取り組んでいるか問う言う部分がないという事です。

○小出義一委員長

この資料を使って説明をしようと思っています。

話し合った部分は確定していることではないのでパワーポイントには書きませんでした。紙の資料で出しています。

○中川健一委員

結果として、概略はおそらくこういう内容だと思います。ですが、なぜこういうことをや

ろうと思ったのかという最初の問題意識が載っていないので。

○小出義一委員長

そういう話をしたいと思って載せているのですが、伝わりにくい部分があればそれを踏まえて修正したいと思います。

○新美保博委員

まちづくり勉強会のアンケートはいつ、誰にどうやって行ったものですか。

○笠原建設部長

平成 22 年度に当初区画整理を予定していました区域内の各家庭へアンケート用紙を職員が個別に配りました。銀座本町の通りまでで 12.1 ヘクタールの範囲です。そのときに空家の数なども把握しました。

○新美保博委員

その数字は範囲も狭くなっているし使えるものなのか。

○笠原建設部長

区域としては縮小していますが、周辺に住んでいる方のアンケートということになります。

○新美保博委員

パワーポイントのアンケート結果で街に活気がない 22.2 パーセントというのと、逆に約 77 パーセントは活気があると捉えていることにならないか。

○大松市街地整備課長

当時のアンケートの設問ですが、現在の状況に不満を感じているか、と質問した後で 11 の選択肢をこちらから提示し複数回答可として答えてもらっています。

○新美保博委員

22 パーセントにはなんの根拠があるのか聞きたい。何をもって活気がないとするのか。例えば 100 人のうち 22 人が無いとするならば、その逆もあるよね。数字の根拠を聞いています。これは正しい数字化どうかを聞いています。普通なら活気がないから調査テーマにするところが、活気がないと言っているのは 22 人しかいないことになっている。

○笠原建設部長

22 パーセントというのは不満内容の内訳になります。その前に不満の有無を質問しており、ある、と回答しているのは 88.1 パーセントとなりますので、その内訳となります。なので、22 パーセントという数字を資料に掲載すると土俵が変わってきてしまうと思います。

【発言するものあり】

○沢田清委員

まず 88 パーセント不満があるという数字を載せたほうが良いと思います。

【発言するものあり】

○新美保博委員

27 日に顔を合わせたときに同じ土俵で議論ができるようにしないとイケません。今の街をどう思っているのか、これからどのようにしたいと考えるのか、そこを一緒にせずに掛け違えてしまうと全部が台無しになってしまう。こういう思いがあるからこの案ができました、皆さんどう思いますかと。もしかしたらそんなものはだめだと言われるかもしれない。考え

方はいろいろありますが、そのところの説明は必要です。

○小出義一委員

今のこのパワーポイントは一応決まっていることだけを整理したつもりです。導入としてこの画面を見ていただきながら経緯をここで説明させていただきたいと思っています。

○中川健一委員

経緯もパワーポイントでちゃんと示したほうがいいと思います。10年間都市計画に引きずられて、「なんだ」となっている住民も多いはずなので、そういうところからきっちり話していくべきだと思います。資料の26年度計画決定見込というの、資料として出して、また先延ばしになったら僕達も恥をかきます。

○笠原建設部長

このところはこういう計画がありますよ、という程度にとどめておくといいかと思えます。区画整理の縮小についてもすでに決定したことで、説明会、市政懇談会でも説明しておりますので。

○小出義一委員長

混同するといけないと思ったので、パワーポイントの部分は既に決まっているものをだそうと、委員会として検討してきたことは紙ベースの資料で渡そうと思っています。この中に経緯もいれていかないと思うのですが。

○中川健一委員

資料の「対象地域の20パーセントが空家」とありますが、これは僕たちが取り組むことと何か関係があるのですか。

○小出義一委員長

直接なかったかもしれません。私も載せるか迷っていた部分でした。

○新美保博委員

今ここに半六邸の整備計画がありますよ、とミツカンのやることがありますよ、というだけのことで、百も承知だと思います。現状報告としてはあります。それから生まれるものは何もない。

○中川健一委員

やっぱりここは考え直して、JR半田駅前の現状はこうですよと軽く説明をして、次に経緯です。なぜ我々がこういうことをやろうとしたのか、半田らしい街並みをつくろうと思ったのか、問題意識を入れる。当初は区画整理をやりますと平成15、16年ごろからずっと言っていて、地元の人たちも協力して平成20年まではやっていた訳です。僕はもともとこの計画に無理があったと思いますが、それを縮小することになり、今になっています。現状はこういう問題が起きています。一方でミツカンはこういうことをやり、中壱半六邸はこういうことをやりだしている中で、何とか半田らしい街並みをJR半田駅前で作り上げられないか、と我々は考えて、みなさんのご意見を伺いに参りました。ちなみにわれわれの対案はこういう考えです。と事前に同封して、ご高覧いただければ幸いです。といった感じでやったほうが。例えばですが。

○小出義一委員長

今、事業として整備している部分とまもなく実施する区画整理や高架化とリンクするところの説明があって、次に賑わいをつくるいいタイミングなのに考えなくていいのか、というところを付け加えながら 27 日に至った経緯を説明していきたいと思います。

○中川健一委員

高架化とは直接関係ないのに、そういう話を出すのですか。高架化はあるかもしれませんが、あったらあったで、ないならないで考える。半田らしい街並みを J R 半田駅前にどうしたらできるのかという。

○小出義一委員長

暫く休憩します。

休憩 午後 3 時 45 分

再開 午後 4 時 45 分

○小出義一委員長

再開します。提示しました資料に対していろいろとご意見をいただき、基本的には起承転結をもって整理をするということになりました。14 日までに起承転結の流れを作りかえて素案をお送りします。そのご意見について 1 月 20 日 13 時半から委員会を開催し伺います。これでよろしいでしょうか。

【「はい」との返事あり】

○小出義一委員長

ありがとうございました。

○笠原建設部長

確認をお願いします。当局で用意した資料は作り変えたいと思います。後、コミュニティ道路の参考例として、現地の写真を用意しました。また、成田議員に書いていただいた絵をスキャナで読み込んで A 4 サイズに落とした写真を資料として用意しようと思います。こちらは紙ベースで出すということによろしいでしょうか。

○小出義一委員長

絵はせっかくだからパワーポイントの最後の部分の背景にできたらどうでしょうか。

○笠原建設部長

できるかやってみます。

○中川健一委員

両方あればいいと思います。

○小出義一委員長

他によろしいでしょうか。次に 27 日の後のまとめの日程だけ先に決めたいと思います。27 日に話を聞いて、皆さんの意見を集約して翌週の委員会で取りまとめたいと思います。暫く休憩します。

休憩 午後 4 時 45 分

再開 午後 4 時 47 分

○小出義一委員長

再開します。2 月 6 日をお願いします。確認します。次回は 1 月 20 日午後 1 時半から、

懇談会の後の委員会は2月6日午後1時半からとなりましたのでよろしくお願いいたします。

その他何かありますでしょうか。

○中川健一委員

別件ですが、2つ当局にお願いすることがあります。1つは知多南部卸売市場がどう経営改革していくのかについて中間報告をしていただきたいと思います。

【発言するものあり】

○中川健一委員

全員協議会でやるのでしたら結構です。

次に三八市のあたりにエサキホームかどこかが建てて、大変なことになっているのですが、一体どうなるのかというところと、多少こちらとしてやれることがあるのならば何ができるのか。現状と対策ですね。

○小野田商工観光課長

三八の代表者の方から道路での設営をお願いしたいと依頼を受けています。ただ地面にくい打っているのですが、打つ場所がなくなっていますので、道路に杭を打てるような方法がないか、というところが接触の第1歩です。ところがその段階で沿道の方のご了解をいただけたら次のステップに移る、ということで市としても話をしています。

○中川健一委員

区に了解を得るのですか。

○小野田商工観光課長

沿道沿いの直接影響を受ける方々です。それで新しく住宅となった部分で、出店を控えてほしいと声があり、奥の方々達も手前の方の了承がとれるならいいが、そうでなければやめてほしいと、広がったのが経緯です。朝市としては、例えば区民間での開催も検討されたようですが、私が聞く範囲では現状の三八で考えてほしいとなり、区の利用は決定されなかったということです。なかなかご希望通りの市では沿道の方の了解が得られない状況です。

○中川健一委員

対案はないのですか。

○小野田商工観光課長

現状ではどこまでの方に承認いただけるかにかかっています。理解が得られなければ圧縮せざるを得ないとなります。また、私は青山の朝市設置に関わっていたのですが、その際に、道路での設置は今後一切認めないということを愛知県警から伺っています。例えば三七福の前ですと道路になりますので、考え方が変わってなければ難しいと思います。

【発言するものあり】

○小出建設産業委員長

他にありませんか。

○笠原建設部長

お知らせになりますけれども、愛知県が施工しています川崎町の臨港道路から半田常滑線へ降りてくる右折ランプ橋、その供用開始が週明けの14日、朝9時から現状のラインを修

正した後となります。

【発言するもあり】

○中川健一委員

朝市の件ですが、あれも観光資源の一つだと思います。僕は補助金をだして云々ということは考えていませんけれども、もう少し場所の問題だとかサポートしてあげないと年配の人も多いので、任せてしまってもできるのかな、と。また無くなってしまうのも困るな、と思いますので、もう少しがんばれないかなと思うのですが何か方法はないですか。

○小野田観光課長

朝市は同じ方が動いて開催されていて、そのうちの約半分は市が関って残りの半分は露天商組合などが仕切っている朝市となりますので、もし三八の朝市でできなくなったというときは、他の市にご活躍いただくということは可能だと思います。ただし、現地で同じようにやりたい、ということについては場所が無い限りは地域理解が第一優先となりますので、沿道の方が承認いただけないようであればなかなかそこで同じようにやるのは市の施策でも難しいのが現状です。

○小出義一委員長

他にありませんか。

【「なし」との声あり】

○小出義一委員長

他にないようですので本日の委員会はこれで閉会いたします。ありがとうございました。

閉会 午後4時55分